ゆうきがあれば　幸せ２倍　魚住東中学校４２回生　　第２学年　学年通信　第８９号

OU BAI TOU RI

桜梅桃李～みんなちがってみんないい～

発行日：２０２２年　６月１７日（金）

自分の心にブレーキを！

期末テストが終わりました。勉強頑張りましたか？ベストはつくせましたか？さて休み時間の過ごし方がやはり気になります。ですが廊下でふざけている皆さんを見ていると「危ないなあ、いつかケガをするぞ」と思います。相手が傷つくようなきつい言葉を耳にすると「そのうち冗談ではすまなくなるぞ」と思います。本当にケガをしてからでは遅い、本当にケンカになってからでは遅いと思って声をかけるのですが、「だいじょうぶ、だいじょうぶ、ふざけているだけだから」と思っているのか、なかなか止まりません。

　ここでひとつ有名なお話をします。１つの事故や事件が起きる時は、「やめておけばよかった」という赤信号が 29 個あり、「注意すればよかった」という黄信号が 300 個ある。これは、「ハインリッヒの法則」と言われます。米国の保険会社に勤務していたハインリッヒ氏は、重傷以上の事故が１件起きる背景には、軽傷になる事故が 29 件起きており、さらには、あやうく事故になるような「ヒヤリ」「ハッと」するような出来事が 300 件あるという「1：29：300 の法則」を発見したのです。

※いけないことだと分かっているんだけど、面白いから、なかなか止められない。
※やめようやめようと思っているんだけど、さそわれると断れない。
※「あぶない」とドキッとした時は注意するんだけど、すぐ忘れてしまう。

　世の中のニュースでも、カッとなって引き起こされた事件や、ささいなミスによる事故がよく見られます。

「あと少しがまんすれば、こんな事件にはならなかったのに・・・」
「あと少し注意すれば、こんな事故にはならなかったのに・・・」

と悲惨なニュースの度に思います。みなさんも、あやうくケガをしそうな「ヒヤリ」とする出来事があった時、「ああ、大きな事故にならなくてよかった。これは『もう止めておけ』という合図だな」と思えるといいですね。

ちょっとの我慢、ちょっとの注意、ちょっとの思いやり・ちょっとのがんばりが、みなさんの生活を安全で楽しいものにしてくれるのです。自分の心にブレーキのかけられる４２回生になりましょう。

ここのところよく話をしていると思いますが、先生たちから見て、今の２年生の状況は決していいとは思っていません。「めんどくさい」「つまらない」「大変だから」「きらいだから」と逃げていることはないでしょうか。学校は「楽しい」ところであってほしいものです。けれども、それだけではいけません。学校は「がんばる」ところでなければと思います。

あいさつをしようとがんばる、自分の責任を果たそうとがんばる、友達と仲良くやろうとがんばる、時間を守ろうとがんばる、発表を頑張る・・・いろんなことにがんばってください。そこにみなさんの成長があるはずです。１年を終えたとき、成長できたことを感じられるようがんばっていきましょう。

キャリア学習
生き方を考える
人とのつながりを
考えるの一コマ

努力は宝や！！　自学ノート　がんばりました！

１冊目	２組	○○○○○○
１７冊目	５組	○○○○○○

期末考査が終わり、運動部はいよいよ総合体育大会に向けてラストスパートです。授業を大切に文武両道で頑張っていきましょう！！トライやるの県市関連施設も決定しました。来週から教育実習生も来ます。いろいろ頑張ってください。